

平成30年度 第2回 豊後大野市地域公共交通会議  
豊後大野市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日時：平成31年1月23日（水） 10:00～  
場所：豊後大野市役所 5F 委員会室



1. 開会

事務局：ただいまより、平成30年度「第2回豊後大野市地域公共交通会議及び豊後大野市地域公共交通活性化協議会」を開始いたします。

2. 会長あいさつ

会長：みなさんおはようございます。副市長の石掛です。本日はご多忙のところお越しいただきありがとうございます。今日は報告事項2点、議題が議案3つとなっております。本日は大分大学大井ゼミと三重総合高校から学生さんにお越し頂き、昨年11月に実施した社会実験「大人の社会見学V」の発表をして頂くことになっております。皆様の闊達なご議論を宜しく願いたします。

3. 大分大学経済学部経営システム学科大井ゼミ3年生による発表

学生：発表（省略）

事務局：ありがとうございました。買い物や通院だけでなく、今回のような社会参加しやすい環境づくりの一環として、公共交通の利用環境を今後も整えていきたいと思います。発表に対しご意見ご感想ございますか。

会長：学生の皆さんありがとうございました。提案にあった、見やすい路線図を作るだとか

説明会を開催するだとか、市で取り組みそうなこともありました。今後もこれをきっかけに地域に興味を持って頂き、豊後大野市のような過疎地域のことを知ってもらい、そこでの課題解決に向けて取り組むとともに、高齢者の方とのふれ合いの経験などもして頂けると幸いです。

大井委員：これまで5年に渡り社会実験の場、発表の機会を頂きありがとうございます。今後も高校生の参加を含めて、熟度を上げて継続させて頂きたいと考えております。地域の方々にもこのような取り組みを行っていることをお伝え頂き、公共交通の利用促進につながれば幸いです。

事務局：今回の取り組みをまとめたビデオがあるので、ご覧ください。  
(ビデオ上映)

#### 4. 報告事項

- ① コミュニティバス、あいのりタクシーの運行状況等について
- ② 公共交通モニタリング調査について

事務局：資料の説明（省略）

会長：今の説明に対し、ご意見等ございますか。

衛藤委員：コミュニティバスの運行をタクシー協会として行っておりますが、大型二種免許保有者が不足している状況です。ジャンボタクシーサイズであれば普通二種免許で運転ができるのでジャンボタクシーに変更するよう豊後大野市には要望をしていますが、補助金等の問題で変更できないと伺っています。この場で市のご意見を伺いたいと思います。

事務局：スクールバスを兼ねている車両については、補助金の使途の関係で10人以下の車両に更新できませんが、スクールバスを兼ねていない車両については、更新のタイミングで10人以下の車両に更新することは可能かと思っておりますので、車両の小型化について検討してまいりたいと思います。

#### 5. 議題

- ① 議案1. バス停コンテスト及び優良乗務員表彰（案）について

事務局：資料の説明（省略）

会長：ただいまの説明に対するご意見等ございましたらお願いいたします。

大井委員：これまで利用者の多かった角門の利用者数が減少しているのはなぜでしょうか。

事務局：本年は利用人数で5位でしたが、理由を地域の方に伺ったところ、集落はそもそも世帯数が少なく高齢者がほとんどで、最近では病院や介護施設の送迎を利用するようになっていくことが利用者減少の理由ではないかということでした。

赤嶺委員：受賞候補に鹿屋入口バス停を選んだ理由は投票によるものだけでしょうか。また、その後利用者数への影響はみられますか。

事務局：利用者増につながっているかどうかは確認できていません。12月～1月初旬に投票頂いており、投票数一位だったため表彰を考えております。

イス等を地域で設置して頂いて利用者から好評だったためと考えています。

会長：ありがとうございます。他にございませんか。なければ、この議案につきましては了承いただくということによろしいでしょうか。

一同：異議なし。

## ② 議案2. コミュニティバス実証運行（案）について

事務局：資料の説明（省略）

会長：ご意見等ございますか。

大井委員：現時点の久知良・大原線のデータは集まっていますか。

事務局：利用状況は、運行開始直後の10月は運行日が5日間で42人、11月は4日間で14人、12月は4日間で16人となっています。運行開始直後の10月から徐々に利用者は減少傾向です。今後アンケート等を取って、本格運行に移行するかどうか、について検証していきたいと思っております。

三代委員（代理）：辻地区の延伸ルートが入り込んでいますが、バスは安全に転回できますか。

事務局：大野竹田バスの方に現地を見てもらい、安全に転回できると確認済みです。

赤嶺委員：久知良・大原線の区間ごと・バス停別の利用状況は分かりますか。

地元の方は路線開設を喜んでいらっしゃるかと聞いておりますので、利用が減少しているとは驚きました。

事務局：バス停別の利用人数は分かります。久知良知区では、10月～12月で乗車人数は14人、3人、4人、降車人数は11人、0人、1人となっています。

渡海委員：運行開始当日に実際に運転士としてこの路線を乗務しました。利用者の方の意見を聞いていると、便数が少ない、時間帯が合わないという意見がありました。利便性の問題で利用者が減ったのではないかと考えられます。

会長：月別の合計人数と乗車人数・降車降人数の違いは何でしょうか。

事務局：全てのバス停の乗降データの集計を2で割った数が月別の合計人数で、乗車人数・降車人数のデータは、久知良地区の3つのバス停での利用者数です。

赤嶺委員：本格運行に移行するかどうかの判断基準は何でしょうか。利用者数が少ないのであれば地元の区長に利用促進の依頼をしたいと思っております。

事務局：やはり利用者数が多くないと本格運行へ移行できないと考えています。市としても地元の区の方に利用者数の確保について話をするほか、主な利用者と想定される高齢者の方へのアンケート等を取りたいと考えています。

三股委員：時間帯や便数への意見を聞いて、時間帯を見直す余地は実際のところ、あるのでしょうか。

事務局：時間帯の変更の余地はありますが、本格運行に移行すれば他路線の運行との兼ね合いで時間帯の設定に制約も出てくる可能性はあります。今後ご意見も踏まえつつ、運行計画の中で可能な限り時間等見直していければと思います。

衛藤委員：利用者数を増やすためには増便も考えられると思いますが、時間帯が合わなければタクシーを利用してもらえます。時間帯の利便性が上がることは、タクシー事業者としてはタクシーの利用減少につながりかねないので、そのあたりは考慮いただければ、とは思いますが。

会 長：他にございませんか。それでは、本議案にご承認いただけますか。

一 同：異議なし。

### ③ 議案 3. 平成 30 年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（案） について

事 務 局：資料の説明（省略）

会 長：ご意見等ございますか。

大井委員：国の委員として事業評価をする立場にいるため、中立性の観点からこの採決には参加できないことをご承知おきください。

会 長：ご意見なければ、この議案につきましては了承いただくということでよろしいでしょうか。

一 同：異議なし。

## 6. その他

会 長：その他ということで、何かありますか。

赤嶺委員：自治連合会の会長と併せて、三重町の社会福祉協議会の会長もしておりますが、皆さん一番困っていると言われるのは「移動手段」です。今日の学生の皆さんの発表で考察の部分は感心しました。

市にお願いしたいのは、移動手段という切り口での住民の生の声を聞く機会を設けていただきたいということです。利用者数が少ないというだけで路線を廃止していいのか、集落の状況も考慮しつつ、コミバス以外の方法も含めて移動手段の確保に取り組んでいただきたいと思います。

大井先生に質問ですが、豊後大野市の社会実験以外にも、他の地域事例で参考となる事例や取組みをご紹介頂ければと思います。例えば、島根県の雲南市は様々な取組みをされていると聞いています。学生さんの視野を広げる意味でも紹介していただけないでしょうか。

事 務 局：利用者の方が少ない地域等に、トリガー制度を実施して便の見直しをすることは必要ですが、利用者の方が少ないからと言ってすぐに廃止するのか、という問題もあります。例えば利用が少ない便だけを減便にするなどの方法もあると思います。

また、清川地区においては、以前はコミュニティバスを走らせていたものを、あいのりタクシーに変更した事例もあります。他の地域においてもいろいろな方法を検討していきたいと思います。

また、意見交換会についても取り組んでいけたらと考えております。

赤嶺委員：意見交換会の際は、ぜひ自治連合会を活用してもらいたいと思います。

大井委員：地域それぞれで事情が異なるので、一概には言えませんが、参考事例はあります。

島根県雲南市ではタクシー事業が厳しい状況にあるため、住民主導で移動サービスを導入している事例ですが、高齢化の進んでいる地域では、住民が移動の足を担うという場合、高齢者が高齢者を送迎するような場合が想定されます。運転手不足の現状では住民がその役割を担うこともありえますが、その場合は安全面として大丈夫なのか、という問題も残されます。

事例については今後も紹介していきたいと思いますし、学生にも他の事例も参考に検討するよう指導したいと思います。

意見交換会については、バスの要望合戦のようにならない様、うまく学生を活用してもらえればと思います。

会 長：他に何かありますか。それでは特にないようですので、進行を事務局へお返しいたします。

事 務 局：今回は2月下旬から3月上旬での開催を検討しており、担当から別途連絡します。

## 7. 閉会

事 務 局：これにて閉会いたします。本日はありがとうございました。